

志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その１）
特 記 仕 様 書

1、工事内容

- 1)、位置 羽咋郡宝達志水町 荻市 地内
2)、工事概要 本工事は志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その１）であり、その概要は工事設計書の通りである。

2、工事材料の規格

工事材料の規格は以下のとおりとする。なお、メーカー表示のものは、同等品以上の性能を有するものとする。

【本設工事】

铸铁管	水道用ダクタイル铸铁管 GX 形(第 1 種、第 S 種)	JDPA G 1049
	水道用ダクタイル铸铁異形管 GX 形(内面粉体塗装)	JDPA G 1049
	水道用ダクタイル铸铁管 NS 形(第 1 種、第 3 種)	JWWA G 113
	水道用ダクタイル铸铁異形管 NS 形(内面粉体塗装)	JWWA G 114
	水道用ダクタイル铸铁管 (第 1 種、第 3 種)	JIS G 5526 ・ JWWA G 113
	水道用ダクタイル铸铁異形管 K 形(内面粉体塗装)	JIS G 5527 ・ JWWA G 114
ダクタイル铸铁曲管	NS 形 ロングベンド クロダイト	
	両受けベンド (特押内蔵型) コスモ工機(S ロック)	
特殊押輪	大成機工(TN-30W) コスモ工機(CM-B) 川崎機工 水研	
特殊押輪(耐震用)	大成機工(TN-30R) コスモ工機(CMH)	
鋼管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116
鋼管継手	水道用ねじ込み式管継手 樹脂被覆	JIS B 2301
ビニル管	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JWWA K 129 ・ JIS K 6742
ビニル管継手	水道用硬質塩化ビニル管用 FCD 製異形管(抜止機構内蔵形) 積水 クボタ	
VC ジョイント等	大成機工 コスモ工機(粉体塗装)	
ポリエチレン管	配水：水道配水用ポリエチレン管	JWWA K 114
	給水：水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6742
ポリエチレン管継手	配水：水道配水用ポリエチレン管継手	JWWA K 115 PTC K 13
	給水：KMP ポリエチレン管継手 前沢給装	
仕切弁	ソフトシル仕切弁 (水道用 0.74MPa、FCD 製)	JWWA B 120
	NS 形・K 形 受挿しソフトシル仕切弁 前沢工業 クボタ 栗本 清水合金	
	NS 形 両受けソフトシル仕切弁 前沢工業 クボタ 栗本 清水合金	
	水道配水用ポリエチレン管用受挿しソフトシル仕切弁 前沢工業 清水合金	
	水道配水用ポリエチレン管用両受けソフトシル仕切弁 前沢工業 清水合金	
空気弁	エアリス弁 前沢工業 明和工業又は同等品以上	

消火栓	地下式単口(浅層埋設対応型)	前沢工業	クボタ	JWWA B 103
	内外面粉体塗装			
ボール式副弁	φ75 H=100 FCD レバー式内面粉体塗装	前沢工業	森田	清水合金
仕切弁筐	町指定品 草竹 トミス			
消火栓筐	町指定品 草竹			
空気弁筐	町指定品 草竹 ダイモン			
給水管材	町指定品			
配水管渡架材	明和工業 (PPLP)			

【仮設工事】

レンタル鋼管	REPCS 明和工業			
レンタル鋼管継手	G 型(グロータイプ)、H 型(ハウジングタイプ)	明和工業		
ゲートバルブ・				
ストップバルブ	水道用または JIS 10kgf/cm ² JIS B 2011			
ビニル管	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JWWA K 129・JIS K 6742		
ビニル管継手	水道用硬質塩化ビニル管用 FCD 製異形管(抜止機構内蔵形) 積水クボタ			
VC ジョイント等	大成機工 コスモ工機(粉体塗装)			
ポリエチレン管	配水：水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6742		
	給水：水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6742		
ポリエチレン管継手	配水：KMP ポリエチレン管継手 前沢給装			
	給水：KMP ポリエチレン管継手 前沢給装			
不断水割 T 字管	大成機工 コスモ工機(粉体塗装)			
不断水バルブ	大成機工 コスモ工機(粉体塗装)			

3、工事配管工事

- 1)、管布設位置は平面的に見て、管面で 30 cm他の構造物と離れる位置に布設するものとする。
- 2)、管の接合にあたっては規定の量を挿入し、水漏れが生じないよう充分注意の上で施工すること。
- 3)、本管の既設管との接合は、監督員の指示する時間内に速やかに行うこと。
必要に応じて試験掘を行う場合や夜間作業となる場合もあるが、一部分的であり請負人はこれに従うものとし、この精算も行わない。
- 4)、配水管については通水試験を自記録水圧計で 60 分行うものとし、試験圧は 0.74MPa とする。
尚、記録紙は当町監督員に提出するものとする。
又、原則として給水管接続工事を済ませて行うものとする。
- 5)、給水管についてはポリエチレン管とし、既設接続とする。又、量水器ボックスを取替える場合があり、これらの材料は当町指定品を使用するものとする。
給水管布設位置について、汚水樹取付管とメーター位置が 2m 以内しか離れない場合は、汚水取付管と同じ場所に布設するものとする。そうでない場合は、水道単独でメーター位置で布設替するものとする。但し、1 戸毎はメーター位置の確認を当町監督員と打合せをする。
尚、分水栓の取付位置、量水器位置を明確にする台帳を作製し、提出するものとする。
- 6)、铸铁管の外面は全長に渡りポリエチレンスリーブを被覆するものとする。ビニル管の铸铁

異形管部やサドル分水栓部も被覆する。

- 7)、水路及びヒューム管を伏越する場合は、その底部に直接継手個所を設けてはならない。又、その部分に管割上継手がくる場合は前後に切管を設ける。
- 8)、鋳鉄管からの給水管引込みについては、サドル分水栓取付に際し、インサートリングを使用する。（但し、メーター口径の確認を当町監督員と打合せし決定する。）
- 9)、アスファルト・コンクリート等の廃棄物については、当町監督員にマニフェストを提出するものとする。

4、仮設配管工事

- 1)、管の布設位置は現地を確認の上、支障のない位置に布設するものとする。
- 2)、管の接合にあたっては規定の方法に従うものとし、水漏れが生じないよう充分注意の上で施工すること。
- 3)、本管の既設管との接合は、監督員の指示する時間内に速やかに行うこと。
必要に応じて試験掘を行う場合や夜間作業となる場合もあるが、一部分的であり請負人はこれに従うものとし、この精算も行わない。
- 4)、フレキ管を使用する場合は、規定の曲げ角度に留意すること。
- 5)、フレキ管や曲管部、長い直管部は、土のうや木杭、Co 防護による振れ止め施すこと。
- 6)、仮設配管完了時の通水試験にて、漏水および振れ止め等の確認を行うこと。
- 7)、給水管についてはポリエチレン管とし、既設接続とする。
- 8)、アスファルト・コンクリート等の廃棄物については、当町監督員にマニフェストを提出するものとする。

5、施工管理は石川県土木工事施工管理基準に準じる。

6. 安全対策

車道にて工事車両の駐車や重機の配置など道路の通行を制限する可能性がある場合、または地理的要因や規制に伴う視界不良の現場での工事を行う場合には、適切に交通誘導員を配置する必要がある。ただし、石川県公安委員会が指定する道路において交通誘導警備業務を実施する場合（道路における危険を防止するため交通誘導警備が必要と認める区間の工事）では、有資格者警備員を一人以上配置すること。

以上